



## 第42号目次

- 1 … 市町協会会議開催  
浦和レッズACL初優勝 NACK5スタジアム大宮こけら落とし
- 2 … 県内メディア座談会
- 4 … 秋田わか杉国体総括・野崎強化特命委員長  
関東ブロック大会結果
- 6 … 佐賀高校総体総括
- 7 … 大会記録
- 14 … 技術委員会
- 15 … 審判委員会・インフォメーション
- 16 … インフォメーション・編集後記

## 市町協会理事長会議開催

10月28日、県内の市町協会の理事長を招いて、会議と懇親会をさいたま共済会館で開催した。会議では、横山専務理事からSFAミッションの説明とその質疑応答、そして三戸・星野副会長、各専門委員長出席の下、協会運営に関する質疑応答がなされた。

特に質疑応答では、ミッションで掲げた「学校を核としたコミュニティづくり」をはじめ、施設、トレセン、そして登録と多岐に渡り、質問が投げかけられた。中には厳しくも暖かい叱咤激励の言葉もあり、SFAと各市町協会のつながりを作る第一歩としては、意義のある会議となった。

ただ残念なのは、欠席の市町協会が多かったこと。それも、出欠の返答もない市町協会が多く、改めて積極的な交流、動きがけが必要との認識を持った。

今後、年数回はこのような会議を行い、SFAとしても各市町村へと出て「タウンミーティング」を開催したいと考えている。

なお当日は、豪雨にもかかわらず、足を運んでいただいた皆様には厚くお礼を申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。



## 浦和レッズ、ACL(アジア・チャンピオンズリーグ)で初優勝

11月14日、埼玉スタジアム2002において、ACLの決勝第2試合が行われ、レッズが日本のチームとして初優勝を決めた。強敵セパハン(イラン)との第1戦は1対1で迎え、ホームで迎えたこの試合、永井が22分に先制すると、71分には阿部が2点目を入れ、試合を決めた。1次リーグから無敗での優勝は初の快挙。MVPには永井が選ばれ、得点王には5得点を挙げたポンテとサイド・サレヒ(セパハン)が輝いた。

これにより、レッズはアジア代表として、FIFAクラブワールドカップに出場することになった。埼玉の代表としても頑張っていたほしい。

## 大宮アルディージャ、NACK5スタジアム大宮で初試合

11月11日、新装となったNACK5スタジアム大宮で、J1リーグ第31節大宮アルディージャ対大分トリニータが行われた。J1残留を賭けたこの試合、先制したのは大宮。前半3分にMF小林慶行のゴールで、スタジアムのオープニングに華を添えた。だが、その先制した勢いが続かず、26分に同点とされ、残り2分に逆転を喫した。

さてスタジアムは、ゴール裏のスタンドはせり上がり、アウェイ側には大型モニターが設置された。埼玉サッカーの聖地でもあるスタジアム。さらに埼玉のサッカーの歴史を彩ってほしい。

## ～埼玉サッカーの向かうべきところは～

出席者：飯田 隆 氏 (テレビ)  
 金子嘉之 氏 (FM NACK5)  
 砂生敏一 氏 (埼玉新聞)  
 橋上賢一 氏 (朝日新聞埼玉少年少女スポーツ)  
 (五十音順、以後敬称略)

横山謙三 専務理事  
 高橋 明 広報委員長  
 荒川裕治 広報委員 (司会)

### 行きたい高校があるか？

**横山** 本日はお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。レッズ、アルディージャからキッズまで、我々は何をすればいいのかをご意見を伺いたいと思っています。また、皆さんを通じて、多くの人に伝えていただかないと発展しません。本日はよろしくをお願いします。

—まず、自己紹介を兼ねて、県民がサッカーをどう見ているか、ご発言いただけますか。

**橋上** 私どもの媒体は、月2回、朝日新聞のチラシに入っています。中学生以下のスポーツ、文化活動を取り上げています。

立場上、サッカーという3種と4種を見ていますが、中学校が一番大変で、指導者不足が深刻です。編集部には父兄から「どこがしっかり教えてくれるのか」という問い合わせが多いんです。

**砂生** 埼玉新聞は、サッカーにはかなりのページ数を割いていると思います。レッズで週4回、アルディージャは週3回は紹介し、社会人の結果なども紹介しています。小学生の結果は、市民スポーツ部の担当ですが、週3回は掲載しているところです。

レッズの試合の翌日は、駅でもコンビニでも完売になります。また高校サッカーも、選手権になると結果や組み合わせの問い合わせが多く、電話がふさがってしまうこともあるくらい。ただ、中学の部活が地盤沈下して活気がないのもわかっています。クラブは頑張っていると思いますが。

**飯田** テレビ玉は昭和54年に開局し、高校サッカー、中学生の新人戦、少年団大会、そしてJリーグ、なでしこ全体を網羅しています。特にレッズの試合は、どの番組よりも視聴率が高く、やりがいを感じています。これからデジタル放送に移行しますが、データとして文字で出せるようになると、もっとサービスとしてはよくなると思います。数字的には、高校サッカーも侮れません。サッカーは県民にとって関心度の高いソフトです。



金子嘉之氏……NACK5取締役編成部長

**金子** NACK5は19年前に開局し、まずNTT関東を盛り上げようとしてサッカーに関わってきました。今はレッズ、アルディージャとも優劣をつけずに放送しているところです。

サッカーはJ(リーグ)だけしか放送していないだけに、アマチュアに関してはなんともいえ

ませんが、子供の関係で中学校に指導者がいない現状は理解しています。中学生に話を聞くと「Jに行きたい」とは言いますが、その間、「行きたい」高校がないようですね。

**飯田** 昔は高校選手権にJのスカウトが来ていましたが、最近は少なくなったような気がします。以前は、選手権とJリーグが直結していただけないですか。選手権で頑張れば、スカウトされていました。例えば、大宮の吉原くん(宏太)は、選手権で活躍して札幌に入りました。それが、Jのユースチームに人気が集まり、高校かユースか、プロか大学かを15歳で選択しなければならない状態ですね。



橋上賢一氏……朝日新聞埼玉少年少女スポーツ編集長

**橋上** 3種のところでは、選手が何百人、何千人といます。彼らの行く選択肢が少なくなっているような気がしますね。ただ、サッカーをする子供が増えていることはいいことだと思います。

**飯田** それにしても高校選手権で、関東勢が決

勝に来ない(苦笑)。来ないとメディアの扱いが少なくなるんですよ。

—なるほど。改めて、県民のサッカーへの関心の高さを認識させられました。そしてまた、切実な問題も抱えているとも言えます。また埼玉という括りではありませんが、全国的に高校とJクラブは、密ではなくなっていますね。高校サッカーと言えば、来年は埼玉で高校総体があります。地元枠を含めて3チーム出場しますので、期待していただきたいと思っています。

さて次に、前もってお送りしましたSFAミッションについてお伺いしたいと思います。砂生さん、ご質問はございますか。

**砂生** 施設に関して。今年、高校選手権の1回戦が学校会場でした。国体もあり、グラウンドは整備されていますが、なかなか使えないようですね。リコグラウンドは利用されていますか。もっと利用できるように、ホームページを活用するのもいいのでは。

**飯田** 申し訳ありませんが、私はまだリコグラウンドは見たことがないんです。

**橋上** 岩槻の小学校の校庭は空いていますが、開放までは至っていないようです。ナイター施設もありますが、活用されていないところが多いようです。荒川河川敷に天然芝100面構想がありました。これからは人工芝では。



砂生敏一氏……埼玉新聞運動部、浦和レッズ担当



**飯田** 西武台の人工芝グラウンドは素晴らしかったですよ。もっと人工芝が増えると、環境としては素晴らしくなるのでは。——耐久性と利便性を考えると人工芝ですね。ただ、環境を考えるとやはり天然芝がいいという声もあります。

## 素材づくりが4種リーグ

**飯田** 4種リーグが始まりましたが、3種、2種でリーグ戦は日程的に大丈夫なんですか。

**横山** 今、ご指摘の通り、高校を出てJリーグに入る選手はなかなかいません。レッズユースやアルディージャユースから入る選手はいますが、Jで活躍しているでしょうか。

高校の指導者から「いい素材は、レッズとアルディージャに行ってしまう」と聞かれます。しかし、選手権の決勝トーナメントを見ていると、いい選手はいるのです。ですが、国体では負けていたりする……これらをどう見たらいいのでしょうか。要は、サッカーというのは、いい選手といい指導者の両方を作らなければいけないのですが、埼玉ではいい指導者を作ることを怠っていたのです。

そこで埼玉では、まずいい素材を作りだそうと考えて、まず4種リーグを始めました。サッカーは判断力が大事です。自立していなければ、いい判断はできません。自立した子供を育成するのはコミュニティです。そのコミュニティを学校中心に作ってもらいたい。そのためにリーグ戦をスタートさせたのです。今、種を蒔いたところだと言っていいでしょう。これから3種に広がってくれればと思っています。ただ、これからは子供たちの「品質管理」システムを作っていく必要があります。

中学には指導者がいないという声もあります。ですから、中学校の先生を対象にした講習会も必要でしょう。また、団塊の世代を外部指導者として派遣していこうと思っています。

施設などの環境、指導者の問題もありますが、やらなければなりません。10年後、各年代の日本代表の半分以上が“made in Saitama”になってくれたらと思っています。

**橋上** 4種リーグはいいことだと思いますね。ホーム&アウェイで行われる中で、朝から子供たちの声が聞こえる街づくりができれば、町に子供の声が聞こえてきません。

**横山** そうですね、安全な街作りに協力できればとも考えています。



飯田 隆氏……テレ玉スポーツ局スポーツ部長

## もっと情報発信を

**飯田** となると、中学のチームへの外部指導者は大きな課題ですね。今、どうなっていますか。

——今、3人決まりましたが、これからマッチングしていくところです。

**飯田** 募集を告知すればいいのではないのでしょうか。もっと知ってもらうことが必要です。「やりたい」という人が出てくるんじゃないですか。

**金子** このミッションは、すべていい取り組みだと思います。サッカーだけでなく、サッカー以上のモノの考え方をしている。ここから選手と指導者が出てくれば、いいのではないのでしょうか。小学生、4種リーグからスタートさせたことは特にいいことだと思いますね。

**横山** やっている実態がなければ、理解していただけません。ですから、始めたのです。

**砂生** いいことをされているのだから、もっと情報がほしいものです。情報発信してほしいし、(メディアに)投げかけてほしい。

**金子** 子供はいます。あとは指導者。これはSFAにかかっています。子供たちの夢のために、いいサポートをしていただきたい。私としては、今回を契機にラジオという媒体で、どう応援できるか考えていきたいですね。

**横山** 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。また、忌憚のないご意見を賜り、ありがとうございました。

今日が始まりです。年何回かは、集まって意見交換をしたいものです。今後ともよろしくお願ひ致します。



横山 専務理事



# 全種別出場するも、入賞は3位の女子のみに留まる

強化対策特命委員長・野崎正治

## ●成年男子 9月30日～10月3日

1回戦 八橋運動公園健康広場  
新潟県 2 (1-0)(1-0) 0 埼玉県

〈感想〉

年齢、コンディション、選抜編成のための練習時間の確保など様々な課題が残るが、技術・戦術を駆使するためにも、最低限の運動量(体力)の確保が必要である。国体で勝利するための闘い方を先取に周知徹底を計ることも必要か。

勝負事に「たら、れば」はないが、前半の立ち上がり在先制していれば……非常に残念な試合であった。

※優勝は千葉県

## ●女子 10月1～4日

1回戦 西目カントリーパークサッカー場  
徳島県 0 (0-5)(0-5) 10 埼玉県  
得点者：若林2、堀田4、岩倉、窪田、佐藤、北本

準々決勝 仁賀保運動公園多目的広場  
北海道 2 (1-4)(1-6) 10 埼玉県  
得点者：佐藤3、若林、窪田2、北本、田代2、堀田

準決勝 西目カントリーパークサッカー場  
兵庫県 2 (0-1)(2-0) 1 埼玉県  
得点者：庭田

3位決定戦 西目カントリーパークサッカー場  
岡山県 1 (1-1)(0-3) 3 埼玉県  
得点者：窪田2、笠井

〈感想〉

私自身、女子の試合を観戦するのは、なでしこジャパンのテレビ放映くらいしかなく、今回数試合、生で観戦して数年前と比較し、格段の進歩を感じた(なでしこリーグの影響が大きいと思われる)。

国体の戦いを見ると、なでしこリーグに属している県が強く、兵庫県(TASAKIペルーレ)のようにベストメンバーで出場するところもある。

埼玉は、プロ契約などの関係でベストメンバーとは言えないが、若手先取の育成・強化を兼ねており、国体を重要な場として考えていただいている(永井監督・談)。

今回は第3位ではあったが、優勝できる力は兼ね備えていたと思われる。準決勝では、先制しながら逆転されたが、相手ペースの時間帯に何をすればよいのか、経験を積む中で選手自身が感じてほしい。

埼玉は3バックだったが、タッチライン間68mの幅を守るのは、連戦では非常に厳しくなる。臨機応変に4バックに変更することも必要と思われる。兵庫県との後半、格上相手に1点リードし、勝負に徹するのであれば5バックにするのも1つの手段であったのではないかと。

GKはレギュラーの選手がケガで不参加だったと聞く。準決勝はGKの1回の判断ミスが勝敗を決した訳だが、DFの田代、森本は体をよく張り非常にがんばっていた。またFW窪田は様々な経験を積み将来性を感じさせた。

来年度、是非優勝を勝ち取ってもらいたい。

## ●少年男子 9月30日～10月5日

2回戦 TDK秋田総合スポーツセンターA  
石川県 1 (0-1)(1-2) 3 埼玉県  
得点者：萱本、原口、高瀬

〈感想〉

個々の能力に勝る埼玉の完勝といえるが、決定力不足が気になる。また、石川県の攻め手は速攻とセットプレーしかなく、後半開始早々の不用意なファールからの失点はいただけない。

また、GKのポジショニングが気になる(前に出すぎ・パンチングの精度)。

埼玉は、失点の4分後にFW原口の個人技で突き放せたからよかったが、相手チームの狙いを選手個々に理解させることが必要だ。

準々決勝 TDK秋田総合スポーツセンターA  
埼玉県 2 (0-2)(2-1) 3 宮崎県  
得点者：石沢、原口

〈感想〉

宮崎県のスカウティングをし、FW伊勢が中心で速攻主体のチームとわかっていたのに、なぜ簡単に失点を重ねたのか。選手に徹底できていたのか？

同点ゴールの後、横パスを1本繋げば問題ないのに、なぜ蹴り合ってしまったのか。ベンチも同点になった時、安心したのではないかと。宮崎県に対し、油断はなかったか。

## 【総括】

### 成年男子

スタッフ・選手共に社会人で仕事がある。また選抜チームのための選手選考から合同練習に至るまで、大変な苦労があったものと思われる。

その中で、関東予選を突破できたことは賞賛に値する。本大会を迎えるに当たり、コンディショニングの問題、職場との関係など苦労があったと思われる。1回戦、新潟県との戦いを観戦し、明らかにコンディショニング不足の選手が見られ、非常に残念であった。

1回戦で敗れた新潟県が、決勝戦まで進出した。前述したが、勝負に「たら、れば」はないが、前半立ち上がりで得点を奪っていたら、違った結果になっていたと思われる。

来年度、この経験を生かし、本大会で結果を残してほしい。

### 成年男子監督・選手名簿

総監督	阿部直人	(ホンダルミノッソ狭山)	
背番号	位置	氏名	登録チーム
1	GK	村井 智晃	(ホンダルミノッソ狭山)
2	DF	甲能 光	(埼玉サッカークラブ)
3	DF	熊谷 貴史	(ホンダルミノッソ狭山)
4	DF	鶴田 純	(飯能ブルーダー)
5	DF	石丸 皓三	(埼玉サッカークラブ)
6	MF	中野 一孝	(飯能ブルーダー)
7	MF	大野 恭平	(埼玉サッカークラブ)
8	MF	伊藤 昭朗	(ホンダルミノッソ狭山)
9	FW	鈴木 竜基	(ホンダルミノッソ狭山)
10	MF	板橋 裕也	(ホンダルミノッソ狭山)
11	FW	迫田 和憲	(ホンダルミノッソ狭山)
12	GK	上原 克彬	(埼玉サッカークラブ)
13	FW	小林 真也	(ホンダルミノッソ狭山)
14	MF	石牟礼泰成	(飯能ブルーダー)
15	MF	此本 大輔	(ホンダルミノッソ狭山)
16	MF	箕輪 圭介	(ホンダルミノッソ狭山)

### 女子

レズレディースの若手を中心に編成されており、永井監督の下、昨年度準優勝の悔しさを晴らすべく、優勝を目指し、スタッフ・選手一丸となり、よくがんばってくれた。

結果は3位で、満足のいくものではなかったかもしれないが、この経験を生かし、来年度は頂点に立ってほしいし、それができるチームであり、良いムードがある。

劣勢の時に何をすべきか、また格上のチームに1点先制した時のゲームの進め方・闘い方(システム変更など)が必要と思われる。





女子

### 女子監督・選手名簿

背番号	位置	氏名	登録チーム
1	GK	大谷 明香	(ASエルフェン狭山)
2	DF	田代久美子	(浦和レッズレディース)
3	DF	岩倉 三恵	(浦和レッズレディース)
4	DF	森本麻衣子	(浦和レッズレディース)
5	DF	西口 柄早	(浦和レッズレディース)
6	MF	木原 梢	(浦和レッズレディース)
7	MF	佐藤 舞	(ASエルフェン狭山) 監督
8	MF	高橋 彩子	(浦和レッズレディース)
9	FW	北本 綾子	(浦和レッズレディース)
10	FW	若林 エリ	(浦和レッズレディース)
11	FW	窪田 飛鳥	(浦和レッズレディース)
12	GK	池田咲紀子	(浦和レッズレディース)
13	MF	堀田えり子	(浦和レッズレディース)
14	MF	保坂のどか	(浦和レッズレディース)
15	MF	庭田垂樹子	(浦和レッズレディース)
16	DF	笠井 香織	(浦和レッズレディース)

### 少年男子

トレセンスタッフが、そのまま国体スタッフに移行する形にして2年目。U-16の大会であり育成といえは育成の大会であるが、大会である以上、戦い場であり、勝たせてあげるのが、監督以下スタッフの役割である。

関東トレセンリーグなどで春先から国体までに数試合あり、真剣勝負の場があった。私自身も関東トレセンリーグ、国体関東予選の試合を観戦したが、ベンチワークに問題があったように思う。

もちろん、スタッフ一同、懸命に勝利に向かいハードワークしていたが、役割分担の徹底がなされていたのか疑問の場面が見られた。

準々決勝の宮崎県戦。個々の能力では上回る埼玉県がなぜ負けたのか。埼玉県では優勢のチームが負けることがあるが、同じようなパターンで同じ選手に3点を許し、スカウティングなどの分析を選手に徹底できていたか(16才以下だから1回や2回じゃなく、試合中を含め)。

組み合わせにも恵まれ、3位以上の実力を兼ね備えていただけに非常に残念な結果であった。

来年度のスタッフは、関東トレセンリーグなどの真剣勝負の場でベンチワークの経験を積み、本大会で結果が出せるようがんばってもらいたい。



少年男子

### 少年男子監督・選手名簿

監督	宮下 雄全	(和光国際高校)	
背番号	位置	氏名	登録チーム
1	GK	黒澤 裕二	(川越南高校)
2	DF	前田 拓也	(浦和高校)
3	DF	大里 康明	(浦和ユース)
4	DF	長谷川 凌	(浦和ユース)
5	DF	樋口 勝弥	(大宮ユース)
6	MF	石川 俊輝	(大宮ユース)
7	MF	高瀬 優孝	(埼玉栄高校)
8	MF	岡田 正巳	(浦和ユース)
9	MF	石沢 哲也	(浦和ユース)
10	FW	原口 元気	(浦和ユース)
11	FW	赤松 友樹	(伊奈学園高校)
12	GK	中村 隼	(浦和ユース)
13	DF	森田 健介	(浦和ユース)
14	MF	桑田 直徹	(大宮ユース)
15	FW	蒼本 啓太	(浦和ユース)
16	DF	加瀬 光	(浦和ユース)

### 第62回国民体育大会関東ブロック大会

成年男子・女子 8月11~13日 / 少年男子 8月21、22日

#### ●成年男子 熊谷スポーツ文化公園

埼玉県 1 (0-0)(1-0) 0 山梨県

得点者: 大野

埼玉県 3 (2-0)(1-0) 0 群馬県

得点者: 鈴木2、大野

※埼玉県、千葉県、栃木県が本大会に出場

#### ●女子 駒場スタジアム、しらこぼと運動公園

埼玉県 7 (1-0)(6-0) 0 群馬県

得点者: オウンゴール、北本4、田代、堀田

埼玉県 3 (3-0)(0-1) 1 神奈川県

得点者: 北本3

※埼玉県、千葉県、神奈川県が本大会に出場

#### ●少年男子 埼玉スタジアム第2、第3

埼玉県 1 (1-2)(0-2) 4 東京都

得点者: 原口

埼玉県 3 (2-0)(1-0) 0 茨城県

得点者: 岡田3

※千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県が本大会に出場



成年男子 埼玉県-群馬県



女子 埼玉県-神奈川県



少年男子 埼玉県-茨城県

# 平成19年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 総括

## 高体連委員長 松村道彦氏(県立浦和高校)・2種技術委員長 福田直史氏(栗橋高校)

● 1回戦 7月30日 白水大池公園多目的広場  
 埼玉栄 2 (2-1)(0-1) 2 丸岡高校  
 得点者：菊地 2 4 PK 5

報告者：松村道彦(高体連委員長・県立浦和高校)

栄の力があれば、勝てたのではないかとこの試合だった。しかし、同じ選手に2得点を許してしまったことは残念だ。ポジションは相手を上回り、決定的なチャンスは相手よりも多かった。それだけに、点を取るべきところで取ってあげれば、だが、振り返って見れば、ポジションしながらも、なんとなく危ない雰囲気はあったのは確かだ。



初の全国大会。経験値が不足していたのだろうか。しかし、県内では新人戦、関東大会予選、そして高校総体予選と連覇し、関東大会も優勝。ここまでこの年代は負けずに来ていたのだが。技術的には劣っていない。試合の中の勝負どころで決められないのだ。そういう意味では技術が試合の中で活かされていないのが、埼玉の現状だ。例えば、今回の県選手権予選でのベス

ト4の試合なのに、大宮東が4失点してしまった。試合の中でもろいのだ。結果がすべてではないが、結果を求めてこそ真剣勝負ができる。試合の中で力を出せる力強さを求めたい。

この2年、プリンスリーグに出場しているチームは、この高校総体に出場できていない。ハードなスケジュールの中、6月の1週間、リーグ戦の3試合で力を出し切れない状態が続いている。気になるところだ。

さて、来年の高校総体は3校出場できる。願わくは、そのうちの2校が決勝で当たってくれることを祈っている。そんなに甘くはないだろうが、運営スタッフのモチベーションをぜひ、上げてもらいたいと思う。

今、種別を超えたトレセンの活動が始まり、2種と3種、4種とのつながりもできつつある。まさにユース年代の改革期にある。下からの積み上げがあって、この年代があり、レッズやアルディージャに続く。即効性のあるトレーニングはない。我々も、09年度からのU-18リーグ立ち上げも検討しているところだ。

※優勝は市立船橋高校(千葉)

● 1回戦 7月30日 福岡県立久留米総合スポーツセンター陸上競技場  
 市立浦和高校 1 (1-1)(0-1) 2 宮城工業高校  
 得点者：鈴木

報告者：福田直史(2種技術委員長・栗橋高校)

試合のほとんどのポジションは市立だった。チャンスを決めていけば、前半だけで2点は取れたのだが。後半も市立優勢だったが、宮城工業に2回のチャンスを2回とも決められてしまった。点を取られた場面は、相手にスピードがあった。



市立はサイド攻撃が持ち味だが、えぐる攻撃がなかった。それはえぐらなくても、シュートを打てたからだろう。ミドルレンジからフリーでシュートを打つことができたのだ。ただ宮城工業は、プレッシャーが激しく、最後のところでミスをし、防がれてしまった。「いつかは取れるだろう」と思っていたかもしれないが、取れなかった。鈴木をトップに両サイドは巧いが、スピードはなかった。DFラインもスピードにもろさがあった。

これは埼玉が負けるパターンと言っている。攻めているのに点が取れない間に、ワンチャンスを決められてしまう。また、完璧に勝つことを追求するのではないか。勝負どころをつかめない。いくら内容がよくても、どの県も対埼玉となると守ってくる。そういう壁を打ち破るには、FWの身体能力が求められ

る。だから、ストライカーキャンプを行っているのだが。

やはり個人の1対1の強化が急務だと考えている。選手を型にはめているチームが多いせいか、ドリブラーでスピードのある選手が少ないと思っている。ただ中盤の構成はうまい。また埼玉国体のときのように、3位の力は持っているのだから、上位に行けるとは思っている。

決勝まで見たが、青森山田と市立船橋は印象深かった。技術もそうだが、グループ戦術がスピーディーに正確にできていた。流れるようなサッカーを見せてくれた。こういうところも見習ってほしいところだ。

来年の高校総体は3チーム出場できる。ベスト16レベルでは大差がないだけに県大会に出場するチームは、ぜひ出場を狙ってほしい。



## 大会記録 1

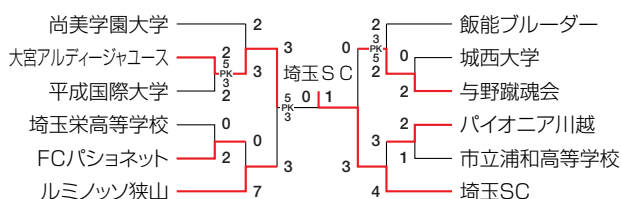
### ● 県内大会

#### 1種・社会人

平成19年度彩の国カップ第12回埼玉県サッカー選手権大会

7月15日～8月26日 埼玉スタジアム第2会場

#### ● 決勝トーナメント



※優勝した埼玉サッカークラブは、第87回天皇杯全日本サッカー選手権大会に出場。



決勝戦 大宮ユースー埼玉SC











# 大会記録 5

## 県50リーグ

●第15節終了現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	本庄	10	2	1	32
2	与野	10	2	1	32
3	NTT	10	1	2	31
4	パルス	7	3	3	24
5	所沢	6	5	2	23
6	蕨	6	4	3	22
7	川越	6	1	6	19
8	鴻巣	4	5	4	17

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
9	深谷	5	1	7	16
10	東松山	4	2	7	14
11	熊谷	3	4	6	13
12	大宮	3	4	6	13
13	川口	2	6	5	12
14	越谷東春	2	4	7	10
15	セントラル	2	1	10	7
16	戸田	0	3	10	3

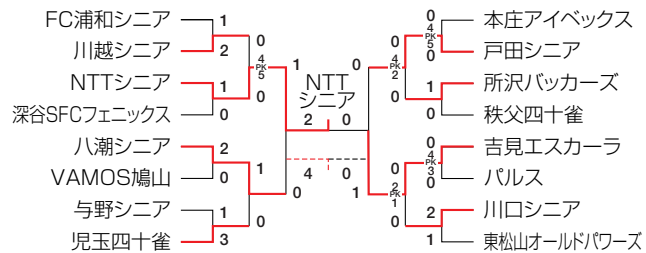
## 県60リーグ

●10月28日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	パルス	5	2	0	17	+9
2	FFC	4	1	2	13	+6
3	ポラリス	0	4	3	4	-3
4	Gファイター	0	3	4	3	-12

## 2007年度埼玉県総合体育大会(シニアの部)兼 日本スポーツマスターズ(O-40)サッカー競技埼玉県予選

9月2日～10月14日 熊谷スポーツ文化公園東第一多目的広場他



※FC浦和シニアが優勝。

## フットサル

### 埼玉県フットサル1部リーグ

●10月6日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	I.F.C./tzk	6	1	0	19	+52
2	ロクFC	5	0	1	15	+43
3	Pure City IMPERIO	5	0	1	15	+21
4	坂戸龍門	4	0	2	12	+11
5	マカブ〜	2	2	2	8	-1
6	1FC川越水上公園	2	0	4	6	-9
7	M.f	1	1	5	4	-23
8	F&F	1	0	5	3	-15
9	KGS	0	0	6	0	-79

### 埼玉県女子フットサルリーグ

●10月14日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	dolce da donna	8	1	0	25	+26
2	CHU-BAR	7	2	0	23	+32
3	ロクFC・Grama	5	2	2	17	+18
4	城北ランシールズ meninas	4	1	4	13	-1
5	Orange Cab!	3	2	4	11	0
6	Iwatsuki F.C./hermes	2	3	3	9	+5
7	FILHO Ladies	1	3	5	6	-13
8	Great Vance	1	1	7	4	-22
9	Asperge L.M.F.C.	1	1	7	4	-45

## 第1回埼玉県フットサルU-13大会

6月24日～10月8日 岩槻フットサルコート他

●総合結果

順位	チーム名	勝点	得失差	得点	失点
1	ロクFC	40	+99	115	16
2	FESTA	30	+20	79	59
3	川越プロス	28	+43	83	40
4	草加スポーツクラブ	20	+30	71	41
5	フォルチ・FC	15	-15	51	66
6	F.C.SOKA 1977	10	-46	34	80
7	大宮NORTE .FC	10	-51	24	75
8	吉川市立東中学校	7	-80	30	110

※ロクFCは初代王者

## 朝日新聞埼玉少年少女スポーツ杯第1回埼玉県フットサルU-10大会

9月2日 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム

●総合結果

上位グループ	勝点	得失差	順位	下位グループ	勝点	得失差	順位
岡田フットサル	37	+49	1	FESTA B	25	+29	9
FESTA A	36	+78	2	はくつるB	23	+21	10
鴻巣FC	32	+27	3	武蔵野FC	19	+3	11
川口サッカー	25	+11	4	はくつるA	18	0	12
ネオス	23	+27	5	ウインベックス	16	+8	13
川越ヤングース	22	-22	6	ふあいびるクラブ	16	+3	14
FC SOKA	18	+40	7	鴻巣ラホージャ	3	-82	15
ZIP	13	-11	8	大宮フットサル	0	-84	16

## ●県外大会

### 1種・社会人

#### 第87回天皇杯全日本サッカー選手権大会

1回戦 9月15日 盛岡南公園球場

FCガンジュ岩手 2(1-2)(1-1) 3 埼玉SC

得点者:古市2、清水

2回戦 9月23日 静岡県草薙総合運動場陸上競技場

Honda FC 2(1-0)(1-0) 0 埼玉SC

4回戦 11月4日 富山県総合運動公園陸上競技場

大宮アルディージャ 0(0-1)(0-1) 2 横浜FC

#### 第43回全国社会人サッカー選手権大会

10月13日～17日 大分スポーツ公園総合競技場他

1回戦 ルミノッソ狭山 1(0-0)(1-1) 1 JAPANサッカーカレッジ  
(0-0)(0-0) 1 (栃木県第1代表)  
得点者:オウンゴール 3PK2

2回戦 ルミノッソ狭山 1(1-1)(0-1) 2 矢崎バレンテ  
得点者:岸上

※優勝した FC Mi-oびわこ Kusatsuが、全国地域リーグ決勝大会に出場する。

#### 2007年度関東社会人リーグ・1部

第5節 Y.S.C.C. 3(2-0)(1-1) 1 埼玉SC

得点者:山下

矢板SC 4(2-2)(2-1) 3 ルミノッソ狭山

得点者:板橋、鈴木2

第6節 ルミノッソ狭山 3(2-0)(1-2) 2 埼玉SC

得点者:迫田2、中村

得点者:清水、富島

第7節 ルミノッソ狭山 1(0-2)(1-0) 2 Y.S.C.C.

得点者:迫田

埼玉SC 0(0-0)(0-0) 0 矢板SC

※ルミノッソ狭山は3位、埼玉SCは6位で終了した。優勝した町田ゼルビアは全国地域リーグ決勝大会に出場する。

個人表彰 得点王……鈴木竜基(ルミノッソ狭山) 9得点  
ベストイレブン……DF岸上 剛(ルミノッソ狭山)  
MF鈴木竜基(ルミノッソ狭山)  
大野恭平(埼玉SC)





# 大会記録 7

## 第38回全国中学校サッカー大会

8月19日～24日 Jヴィレッジ

1回戦 青森山田中学校 4-2 新座市立第二中学校

※優勝は日章学園中学校(宮崎県)

## adidas CUP 2007

### 第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月10日～19日 Jヴィレッジ

#### ●Bグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	横浜F・マリノスジュニアユース	7	2	1	0	+3
2	浦和レッズジュニアユース	7	2	1	0	+2
3	ヴィッセル神戸ジュニアユース	3	1	0	2	0
4	シルフィードフットボールクラブ	0	0	0	3	-5

#### ●決勝トーナメント

1回戦 清水エスパルス 3(2-1)(1-1) 2 浦和レッズ

得点者: 矢島、鈴木

※優勝は京都サンガ

## 2007年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ

#### ●前期・Aブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	ヴェルディジュニアユース	12	4	0	1	+13
2	横浜F・マリノスジュニアユース	9	3	0	2	0
3	浦和レッズ	7	2	1	2	0
4	ジェフ習志野	7	2	1	2	-1
5	川崎フロンターレ(U-15)	6	2	0	3	+1
6	関南サッカークラブ群馬	3	1	0	4	-13

#### ●前期・Bブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	三菱養和巣鴨SS	12	4	0	1	+6
2	横浜F・マリノスジュニアユース追浜	12	4	0	1	+4
3	柏レイソルユース	7	2	1	2	+7
4	FC東京深川	6	2	0	3	-3
5	鹿島アントラーズ	4	1	1	3	-3
6	大宮アルディージャ	3	1	0	4	-11

#### ●後期・上位ブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	ヴェルディジュニアユース	13	4	1	0	+10
2	横浜F・マリノスジュニアユース追浜	10	3	1	1	+3
3	柏レイソルユース	8	2	2	1	+2
4	三菱養和SC巣鴨	6	2	0	3	0
5	浦和レッズ	6	2	0	3	-2
6	横浜F・マリノスジュニアユース	0	0	0	5	-13

#### ●後期・下位ブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
7	FC東京深川	12	4	0	1	+4
8	川崎フロンターレ(U-15)	12	4	0	1	+8
9	大宮アルディージャ	7	2	1	2	-1
10	ジェフ習志野	6	2	0	3	+1
11	関南サッカークラブ群馬	4	1	1	3	-5
12	鹿島アントラーズ	2	0	2	3	-7

## 2007年度第11回KCYリーグ 兼 Jユースカップ予選

8月14日～11月4日

#### ●1次リーグ

Aグループ	勝点	勝	分	負	得失差	順位
ACフツーク	9	3	0	1	+24	1
フォルマーレ	9	3	0	1	+15	2
関南SC	9	3	0	1	+14	3
カリオカ足立	3	1	0	3	+1	4
エスペランサ東京	0	0	0	4	-55	5

Dグループ	勝点	勝	分	負	得失差	順位
飯能ブルーダー	10	3	1	0	+9	1
FC町田ゼルビア	9	3	0	1	+1	2
杉並アヤックス	6	2	0	2	+3	3
かながわクラブ	3	1	0	3	-6	4
YSCC	1	0	1	3	-7	5

#### ●2次リーグ

Aグループ	勝点	勝	分	負	得失差	順位
三菱養和	9	3	0	0	+9	1
常総アイデンティ	6	2	0	1	+6	2
OSA	3	1	0	2	-4	3
ACフツーク	0	0	0	3	-11	4

Cグループ	勝点	勝	分	負	得失差	順位
千葉SC U-18	7	2	1	0	+12	1
飯能ブルーダー	6	2	0	1	-5	2
栃木SC	4	1	1	1	0	3
FC川崎栗の木	0	0	0	3	-7	4

#### ●決勝トーナメント

1回戦 FCトリプレッタ 4-0 飯能ブルーダー

※優勝した千葉SCはJユースカップに出場。準優勝した横河武蔵野FCは、FCみやぎざきバルセロナとプレーオフを戦う。

## 高円宮杯第19回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 関東大会

11月4日～17日 各地

Bブロック	成立ゼブラFC	2-1	前橋エコー
	坂戸ディプロマツ	1-4	ジェフ習志野
	成立ゼブラFC	3-4	ジェフ習志野
Cブロック	大宮アルディージャ	4-1	町田JSC
	大宮アルディージャ	5-2	フォルトゥナSC
	大宮アルディージャ	3-1	三菱養和SC
Dブロック	浦和レッズ	3-1	JACPA
	バルセロナ	7-0	FC CORUJA
	浦和レッズ	1-1	湘南ベルマーレ
	浦和レッズ	(4PK 1)	川崎フロンターレ
	浦和レッズ	3-3	(5PK 4)
Eブロック	東松山ベレーニア	1-6	FC東京U-15深川

※大宮がCブロック、浦和がDブロックで1位となり、高円宮杯第19回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会に出場する。

## 4種

### 第31回関東少年サッカー大会

8月10日、11日 大井陸上競技場

#### ●グループリーグ

A組	FC鶴ヶ島	2-0	高崎ドリームス中川
	FC鶴ヶ島	0-5	柏レイソルU-12

※FC鶴ヶ島はグループ2位。

C組	戸塚FC Jr	3-0	古河SS
	戸塚FC Jr	1-0	FC千葉なのはなU-12

※戸塚FC Jrはグループ1位。

G組	上福岡少年少女SC	1-0	FC習志野U-12
	上福岡少年少女SC	0-0	町田JFC

※上福岡少年少女SCはグループ1位。



# 大会記録 8

## ●順位トーナメント

### 1位パート

1回戦	戸塚FC Jr	1-0	パディ
	上福岡少年少女SC	0-0	藤沢FC
		(2PK 4)	

準決勝 柏レイソル 3-0 戸塚FC Jr

### 2位パート

1回戦	FC鶴ヶ島	0-3	西那須
-----	-------	-----	-----

## 第31回全日本少年サッカー大会決勝大会

8月4日~11日 Jヴィレッジ

### ●予選リーグ・Aグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	江南南サッカー少年団	13	4	1	0	+24
2	横浜F・マリノスプライマリー追浜	12	4	0	1	+5
3	大分トリニータジュニア(U-12)	10	3	1	1	+10
4	鶴山ジュニアサッカークラブ	4	1	1	3	0
5	貴志少年サッカークラブ	3	1	0	4	-29
6	南万代フットボールクラブ	1	0	1	4	-10

### ●決勝トーナメント

1回戦	江南南SS	0-0	高田FC
		(3PK 5)	

※優勝はヴェルディ



江南南サッカー少年団-貴志少年SC

## 女子

### MOCなでしこリーグ・DIVISION 1

第12節	TASAKIペルーレ	1(0-0)(1-1)	1	浦和レッズ
				得点者: 堀田
第13節	Jasra	0(0-0)(0-1)	1	浦和レッズ
				得点者: オウンゴール
第14節	日テレ・ベレーザ	3(1-0)(2-1)	0	浦和レッズ
第15節	浦和レッズ	5(4-0)(1-2)	2	アルビレックス新潟
				得点者: 安藤 4、岩倉
第16節	伊賀FCくの一	1(1-1)(0-3)	4	浦和レッズ
				得点者: 安藤 2、北本、柳田
第17節	浦和レッズ	2(1-0)(1-1)	1	INAC レオネッサ
				得点者: 庭田、北本
第17節	浦和レッズ	2(0-0)(2-0)	0	岡山湯郷Belle
				得点者: 窪田、安藤

※第18節を終え、浦和は3位。

### MOCなでしこリーグ・DIVISION 2

第13節	ASエルフェン狭山	2(1-1)(1-2)	3	パニーズ京都
				得点者: 山崎、由井
第14節	ルネサンス熊本	1(1-4)(0-3)	7	ASエルフェン狭山
				得点者: 菅野、由井、オウンゴール、佐藤 2、関根
第15節	ジェフ市原千葉	4(2-0)(2-1)	1	ASエルフェン狭山
				得点者: 関根
第16節	ASエルフェン狭山	1(0-0)(1-0)	0	福岡アランクス
				得点者: 下沖
第17節	東京電力マリーゼ	4(1-0)(3-0)	0	ASエルフェン狭山
第18節	ASエルフェン狭山	2(1-1)(1-1)	2	福岡アランクス
				得点者: 山崎 2
第19節	清水第8プレアデス	0(0-1)(0-4)	5	ASエルフェン狭山
				得点者: 下沖 2、鮎、山崎
第20節	パニーズ京都	3(1-1)(2-2)	3	ASエルフェン狭山
				得点者: 山崎 3
第21節	ASエルフェン狭山	7(4-0)(3-0)	0	ルネサンス熊本
				得点者: 保谷、下沖 2、鮎、山崎 3

※最終節を終え、狭山は5位。

## なでしこリーグカップ

9月2日~24日 埼玉スタジアム2002他

### ●予選ラウンド

Aグループ	勝点	勝	分	負	得失差	順位
ベレーザ	9	3	0	0	+16	1
市原千葉	4	1	1	1	-2	2
大原学園	2	0	2	1	-2	3
AS狭山	1	0	1	2	-12	4

Bグループ	勝点	勝	分	負	得失差	順位
浦和レッズ	9	3	0	0	+16	1
新潟L	6	2	0	1	+7	2
福岡AN	3	1	0	2	-16	3
B京都	0	0	0	3	-7	4

### ●決勝トーナメント



## 第19回全国レディースサッカー大会 <レディース・エイト(45歳以上)オープン大会>

11月16日~18日 清水総合運動場

### ●1ラウンド・Dグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	チーム・羽衣	7	2	1	0	+11
2	室蘭アイスパズ	7	2	1	0	+3
3	福井フェイエノールト	3	1	0	2	-3
4	坂戸ピアンコ	0	0	0	3	-11

### ●順位決定トーナメント

#### 【4位グループ3位決定戦】

ひごたいクラブ	0-0	坂戸ピアンコ
---------	-----	--------

#### 【4位グループ】

藤枝バイオレット	0-0	坂戸ピアンコ
	(2PK 1)	

## 第13回関東女子サッカーリーグ

### ●10月20日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負
1	日本体育大学	26	11	8	2	1
2	日テレ・メニーナ	24	11	8	0	3
3	浦和レッズJr	18	11	5	3	4
4	武蔵丘短期大学	18	11	6	0	5
5	東京女子体育大学	15	12	5	0	7
6	神奈川大学	14	10	4	2	4
7	横須賀シーガルズ	9	11	2	3	6
8	浦和本太レディース	3	11	1	0	10

## 第16回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

7月29日~8月5日 ヤマハスタジアム他

### ●1次ラウンド・Bグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	鳳凰高等学校	9	3	0	0	+13
2	大阪桐蔭高等学校	6	2	0	1	-2
3	埼玉栄高等学校	3	1	0	2	-4
4	桐陽高等学校	0	0	0	3	-7

### ●Eグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	日ノ本学園高等学校	9	3	0	0	+15
2	埼玉平成高等学校	6	2	0	1	+1
3	村田女子高等学校	3	1	0	2	-4
4	福島県立富岡高等学校	0	0	0	3	-12

※本県代表2チームは1次ラウンドで敗退。優勝は鳳凰高等学校(鹿児島県)

## 大会記録 9

### 第12回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

8月25日～29日 Jヴィレッジ

#### ●Aグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	神村学園中等部	9	3	0	0	+16
2	クラブフィールズリンダ	6	2	0	1	+4
3	大宮FCエンジェルス 05	3	1	0	2	-2
4	盛岡ゼブラレディーズFC	0	0	0	3	-18

※優勝は神村学園中等部

### 第5回JFA関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会

8月25日、26日 御勅使南公園Bグラウンド(南アルプス市)他

Aブロック				Bブロック			
得失差	勝点	順位		得失差	勝点	順位	
YSCCコスモス(神奈川1)	+19	15	1	新林レディーズ(神奈川3)	+9	12	1
青梅新町FC(東京3)	+10	9	2	吉井Rスパローズ(群馬1)	+7	12	2
千葉ポニータ(千葉4)	+10	9	3	エスペランサ(山梨1)	+5	9	3
浦和ラッキーズ(埼玉2)	0	9	4	北区さくらガールズ(東京4)	+2	6	4
FC石岡(茨城3)	-17	3	5	東大宮エンジェルス(埼玉4)	+2	6	5
前橋南チエリス(群馬2)	-22	0	6	市川FCL(千葉2)	-25	0	6

Cブロック				Eブロック			
得失差	勝点	順位		得失差	勝点	順位	
松戸FC(千葉3)	+9	12	1	すずき野レディーズ(神奈川2)	+8	12	1
狭山アゼリア(埼玉1)	+1	7	2	戸木南ボンパーズ(埼玉3)	+15	9	2
茅ヶ崎FCなぎさ(神奈川4)	0	7	3	パティF.C.(東京1)	+5	6	3
RJC古河(茨城1)	-4	1	4	KASHIMA-LSC(茨城2)	-13	3	4
はやぶさF.C.(東京2)	-6	1	5	藤岡アルトパーズ(群馬4)	-15	0	5

※Cブロックで狭山アゼリア、Eブロックで戸木南ボンパーズが準優勝。

## シニア

### 第20回全国スポーツ・レクリエーション祭 壮年サッカー

9月23日～25日 青森スポーツ広場他

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	埼玉シニアFC	7	2	1	0	+6
2	岐阜県選抜	6	2	0	1	+2
3	FC35シオガマ	5	1	2	0	+2
4	山口県四十雀サッカークラブ	4	1	1	1	-3
5	NARA FC	2	0	2	1	-2
6	香川シニア50	0	0	0	3	-5

## フットサル

### 第9回関東フットサルリーグ2部

第4節 N.U.FantarsSALL-TRAP 0-12 高西Futsal Clube Kawagoe

第5節 CAFURINGA 東久留米 4-3 高西Futsal Clube Kawagoe

第6節 高西Futsal Clube Kawagoe 4-1 みつわ台FC千葉

第7節 武田消毒FINAL LEGEND 2-8 高西Futsal Clube Kawagoe

第8節 高西Futsal Clube Kawagoe 8-0 三榮不動産FC宇都宮

第9節 試合なし

第10節 SnrEAGLES千葉 1-0 高西Futsal Clube Kawagoe

※第10節を終えて、高西Futsal Clube Kawagoeは4位

### ティアールカップ第4回全日本女子フットサル選手権大会 関東大会

9月16日、17日 取手グリーンスポーツセンター

#### ●予選リーグ・Bブロック

	Amaralo	PRONTO	大和	勝点	得失差	順位
Amaralo/峰FC	*	○3-2	○6-0	6	+7	1
PRONTO	●2-3	*	○1-0	3	0	2
大和シルフィード98	●0-6	●0-1	*	0	-7	3

※優勝したBardal URAYASU Futbol Sola Las Bonitasは本大会に出場する。

## 技術委員会

### 【日本代表関係】

#### FIFA U-20ワールドカップ カナダ 2007

6月30日～7月22日

FW 河原和寿(大宮東高校→アルビレックス新潟)

※日本は決勝トーナメント1回戦敗退

#### FIFA U-17ワールドカップ 韓国 2007

8月18日～9月9日

DF 高橋峻希(浦和レッズユース)

MF 山田直樹( // )

※日本はグループリーグ敗退

#### AFC U-19女子選手権中国 2007

10月5～16日 中国・重慶

MF 山崎円美(ASエルフェン狭山)

※日本は準優勝。優勝は朝鮮民主主義人民共和国。監督は佐々木則夫氏(元大宮アルディージャ監督)

### 【トレセン関係】

#### 関東U-15トレセンリーグ

第1節 9月9日 埼玉県 3-3 山梨県

第2節 9月30日 埼玉県 2-0 栃木県

#### 関東U-14トレセン交流戦

第1節 9月9日 埼玉県 0-2 大宮アルディージャ

#### 関東U-13トレセン交流戦

第1節 9月9日 埼玉県 0-6 大宮アルディージャ

#### 関東U-12トレセン交流戦

第2節 9月30日 東京都A 4-5 埼玉県A

東京都B 6-0 埼玉県B

※各カテゴリーとも、雨天のため消化分のみ

### U-18 女子関東交流戦

#### 北関東ブロック戦

1回戦 7月1日 埼玉県 7-0 群馬県

2回戦 埼玉県 1-1 山梨県 (6PK5)

1位決定戦

9月24日 埼玉県 0-5 神奈川県

※埼玉県は2位

### 2007年第4回関東女子U-15トレセンリーグ・11月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得失差	勝点
1	山梨県	3	1	0	+10	10
2	東京都	2	0	0	+10	6
3	茨城県	2	0	0	+5	6
4	千葉県	1	1	2	+4	4
5	栃木県	1	1	0	+1	4
6	埼玉県	1	1	2	-2	4
7	神奈川県	0	0	2	-9	0
8	群馬県	0	0	4	-19	0

### 第5回関東女子トレセンリーグ(U-12)リーグ表・4節現在

順位	チーム名	勝	分	負	得失差	勝点
1	埼玉県	4	0	0	+21	12
2	千葉県	3	1	0	+10	10
3	神奈川県	2	1	1	+10	7
4	東京都	2	1	1	+4	7
5	栃木県	2	1	1	+2	7
6	群馬県	1	0	3	-9	3
7	茨城県	0	0	4	-16	0
8	山梨県	0	0	4	-22	0



## 第12回首都圏少女サッカー交流大会

9月22日 駒沢オリンピック運動公園第一球技場

千葉	1	千葉フェニックス(千葉県選抜チーム)	栃木	1	東京都Bブロック選抜
	2	茨城県女子U-12トレセン選抜チーム		2	山梨県少女トレセンチーム
	3	群馬県少女選抜チーム		3	神奈川県少女選抜チーム「ゆり」
	0	栃木県少女選抜チーム「空(そら)」		4	U-12女子埼玉県トレセンチーム
	0			0	
	2			1	
	2			2	
	3			4	
	3			1	
	3			0	

※U-12女子埼玉県トレセンチームは準優勝。優勝は千葉フェニックス。

### ●埼玉県北部地区指導者研修会開催

8月12日、埼玉工業大学において、平成19年度埼玉県北部地区指導者研修会を開催された。参加者は100人。県技術委員会、県審判委員会のインストラクターの講習会が開催され、同時にC級、D級ライセンスのリフレッシュ講習会にもなった。



これは4種リーグ開催に合わせて、指導者のレベルアップを図ることを目的に

開催された。高い意識を持って、埼玉の財産を育てていっていただきたい。

### ●外部指導者派遣に向けて

SFAミッション特命委員会から技術委員会への働きかけがあり、3種、それも中体連への外部指導者派遣の準備を進めている。先日、その候補者に集まっていただき、講習会を開催した。

候補者は、近年退職されたシニア世代の方々。ただサッカーの指導ができればいいというのではなく、サッカーの本質を伝えることができ、教育的な配慮ができるという人材を、(財)埼玉県サッカー協会公認指導者として送り出したいと思っている。

まだ人数は少数。指導者ライセンスをお持ちで、「我こそは」という方は、事務局までご連絡していただきたい。



## 審判委員会

### ●平成19年度強化研修会開催

プレーヤーの技術のレベルアップが図られている今日、審判の技術もそれに応えるべくレベルアップを要求されてきている。そんな重要な任務を審判員が任されていることをしっかり受け止め、よりよいゲーム展開への技術を磨くために、平成19年度強化研修会が行われた。

県内の強化審判員は、10月6、7日の2日間、全国高校選手権大会埼玉県大会の試合の審判に割り当てられ、大宮南高校会場他5会場で、各会場に派遣されたインストラクターの方から試合終了後、御指導をいただいた。その後宿舎での全体会では、各会場での課題・問題点を提起し、話し合いを行い、併せて大宮南会場での試合を使ってのビデオ研修も行った。試合の中で問題となる場面についてインストラクターの方も含め皆で意見を出し合い、時間がもっと欲しいと思わせるような充実した研修会であった。

今後、瞬時的確な判断を養うために、また誰もが良いゲームだったと思えるように、それぞれの持ち味を發揮しながら、トップレフリーをめざし、経験を積んでいってほしい。(指導部・渡辺典子)

### 【トレセン審判研修会】

審判委員会は、技術委員会と連携して審判研修を行っています。多くの方にご参加頂き、個々のレベルアップに役立てて頂ければと思います。よろしくご願致します。

<内容>

- ・トレセンの試合(選考会・リーグ)の審判をやって頂きます。
- ・試合終了後、インストラクター(もしくは2級審判員等の上級者)がアドバイスをします。また、トレセンスタッフからも技術の視点でアドバイスを頂きます。
- ・研修会の扱いになりますので、大変申し訳ございませんが、手当て(交通費等も含む)はございません。

<対象審判員>

3級審判員(2級の方が指導を兼ねて参加して頂いても構いません)

<申込方法>

審判を希望される方は、別紙に必要事項をご記入の上、(財)埼玉県サッカー協会までFAX(048-834-2004)をお送りください。申し込みの締め切りは、原則として希望の試合の2週間前までをお願い致します。調整を致しまして、各審判員の方にこちらからご連絡を差し上げます。

※原則として先着順となります。あらかじめご了承下さい。

なお日程につきましては、ホームページを参照ください。

### 【埼玉県レフェリートレセン】

(財)埼玉県サッカー協会の登録審判員で、技術と資質の向上に意欲がある方でしたらどなたでも参加できます。事前の申込は必要ありません。審判手帳をご持参の上、直接会場へおいでください。雨天でも基本的にいます。また、インストラクターの方のご参加もお待ちしております。毎月1回開催しております。なお、日程はホームページを参照ください。

## インフォメーション

### ●北部4種対象にタウンミーティング開催

9月16日に、北部4種を対象としたタウンミーティングが、美里町遺跡の森館にて行われた。横山専務理事により、SFAミッションの紹介と現状説明がなされた。質疑応答では、4種リーグでのピブス利用、審判報告書の省略など、規則緩和が求められる意見が出た。

このように種別、地域だけでなく、各市町村にも「タウンミーティング」は出て行こうと思っているので、事務局までお問い合わせください。



### ●07年度公認S級ライセンス取得者(埼玉関係分)

望月 聡 浦和レッズ  
岩井 厚裕 蕨市立東中学校  
福田 正博 JFA アンバサダー  
山崎 茂雄 飯能ブルーダー  
※ご活躍を期待しています。

### ●レフェリーカレッジ2008(5期生)入学合格者

佐藤 俊介 (関東/埼玉:常勤講師 24歳)  
※埼玉からは初の入学者

## インフォメーション

### ●JFAキッズU-6サッカーフェスティバル in埼玉スタジアム2002開催

9月16日、真夏並みの暑さの中で、JFAキッズU-6サッカーフェスティバルin埼玉スタジアム2002が開催されました。151チーム、2,332名のキッズたちが、埼玉スタジアムでサッカーを楽しみました。6,300人もの父兄、関係者に見守られながら、1試合8分のゲームをそれぞれ3試合行いました。この中から、将来選手としてこのピッチに立てる子供が出てきてくれることを祈っています。



### ●越谷U-16・15リーグ開催

10月13日から、越谷市内では2種と3種の交流を目的とした「越谷U-16・15リーグ」を始めている。持ち回りで市内の高校6校を会場とし、越谷八潮トレセンU-15と越谷八潮トライアルSFA(引退した中学3年生)、そして各高校のU-16が1日の中で総当たり戦を行うというもの。中学生には高校サッカーに触れることができ、新年度に向けていい準備ができる場となっている。2種と3種が連携して地域がまとまっていくことは素晴らしいこと。これからの展開を期待したい。



### ●心当たりがあれば、教えてください

静岡の方から、さいたま市役所へこのような手紙が来たそうです。

「9月10日(月)、市民会館おおみやの前にて、すてきな男子学生集団に会いました。

私の前を歩いて市民会館に入った学生が、「こんにちは、こんにちは」と挨拶をして通り過ぎました。現代社会では忘れられた現実に啞然としてしまい、この学生達に挨拶を返す事も忘れ、我を取り戻した時は学生達が市民会館の中に入った時でした。既に見えなくなった学生達の方向に向かって、私は深く頭を下げました。「こんにちは」と。

私は市民会館の入り口にいる人達に「今の学生はどここの学校ですか」と聞きましたが、誰も「わからない」との返事でした。サッカーの抽選会(注:高校選手権)でたくさんの方から来ているので、わからないとの事でした。

薄い青色のシャツに紺のスラックスを制服にしている学校で礼儀作法のできた学校を御教え下さい。挨拶をされたのに、挨拶を返せなかった自分を恥ずかしく思っております。

今まで市民会館おおみやの前に集まる学生に嫌な感情を抱いていましたが、もう一度見直してみます。」

### ●4種リーグ写真展開催

8月11日と12日の両日、さいたま市北区にあるステラタウンにおいて、「埼玉県4種リーグ写真展」(KDDI主催)を開催した。買い物客が足を止めて、熱心に写真を眺めていた。なお、12日にはJFAアンバサダーである福田正博氏の講演会が開催され、こちらも多くの親子連れで賑わった。



### ●第1回埼玉県第4種サッカー選手権大会、日程決まる

今年スタートした「4種リーグ」を締めくくる選手権大会が行われます。

12月8日(土) 1、2回戦

東部会場:北川辺総合運動公園グラウンド

西部会場:吉見ふれあい広場

南部会場:新座多目的グラウンド

北部会場:神川町町立運動公園サッカー場

12月16日(日) 3、4回戦

埼玉スタジアム第2・第3グラウンド

12月24日(月・祝)

準決勝:埼玉スタジアム第2・第3グラウンド

決勝:埼玉スタジアム2002

※詳細は、SFAホームページを参照してください。

### ●「埼玉サッカー100年史(仮称)」制作のお願い

現在、SFAでは「埼玉サッカー100年史(仮称)」を制作中です。そこで、皆様がお持ちの映像、写真、そして昭和58年~平成10年程度の各種別県大会結果(トーナメント表)を借用させていただきたいと思っています。お手持ちの資料の一覧をSFAまでファクスしてください(048-834-2004)。折り返し連絡させていただきます。ご連絡、お待ちしております。

### ●天皇杯準々決勝チケット好評発売中

12月23日13時より埼玉スタジアム2002において、天皇杯準々決勝が開催されます。カードは、浦和レッズ絡みの山です。今年最後の天皇杯も埼玉を赤く染めましょう。

### ●理事の交代がありました。

理事会において、8月1日付で渡邊誠吾氏の理事就任が承認されましたので、ご報告いたします。

旧 中村 博(エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ 株式会社代表取締役社長)

新 渡邊誠吾(エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ 株式会社代表取締役社長)

## 編集後記

●おめでとう浦和レッズ。真っ赤に染まった埼玉スタジアムでついにアジア制覇を果たした。県民の日に最高のプレゼントとなった。6万人のサポーターの巨大な星の一人として誇りに思う。

さて、大宮公園サッカー場がNACK5スタジアム大宮として新装された。ピッチとスタンドが近く、選手の汗が飛んできそうな距離がいい。昔ゴール裏の湿地で球拾いをしたのを思い出す。

オープニングゲームは降格争いをする大分、雷雨のなかオレンジの炎でスタンドを一色にしたサポーターの応援むなしく「凱旋」を勝利できなかった。雨具もなく、びしょぬれで応援したのに。(高橋)

●秋の大会の多さに驚いています。選手・役員・応援の人達の活躍をお祈りするとともに、ご健康にも

気をつけて下さい。(坂庭)

●先日、保育園勤務時代の教え子達との同窓会がありました。14年ぶりに会う当時6歳の子供も達は、すっかり成人に!!でも笑顔はやっぱり昔のままですかわいかった。(こいち)

●第1回4種リーグ戦も、11月17日をもって終了しました。如何だったでしょうか。「チームのレベルアップは個のレベルアップなしにはない。サッカーはそういうスポーツです」by Osim(栗島)

●あつという間に年末を迎えました。皆さま〜!今年も残り僅かですが、サッカーを通じ、幸せな毎日を☆☆☆(ほうしと)

●中国リーグの審判をする機会を与えて頂き、10月末から約3週間中国へ行ってきた。とある試合中、

すぐ後ろで「ドスン」という音が。振り返ってみると、そこにはサポーターからのありがたないプレゼント(拳2個分ぐらいの大きさの石)が転がっていた。今となっては、笑って話せるが、その時は本当にゾッとした。またこれ以外にもここには書き切れない程の沢山の貴重な経験をさせて頂いた。何かの機会にお伝えできればと思う。(東城)

●この間まで暑かったはずなのに、朝晩少しずつ寒くなり、暦はもう11月。日々追われる生活になっているので、今年も残すところあと1ヶ月、いろいろと見直して考える事ができたらいいですね。(かのう)

●フィットネスクラブでのダイエットに挫折…。やはりボールと共に走るのが1番☆(小豆澤)